

【立命館宇治高等学校】

With/After コロナのニューノーマル

海外研修をオンライン化

≫立命館宇治高等学校（京都）×ワールド・ワイド・ラーニングコンソーシアム構築支援事業
オンライン Global Leadership Studies in Laos



立命館宇治高等学校（京都府宇治市）では、2016年より毎年8月と12月に3年生を中心に社会課題解決型プロジェクト学習内のフィールドワークとして、ラオス渡航を実施しています。コロナ禍で海外渡航を断念した2020年度は、この代替としてオフラインでの事前・事後学習とオンラインでの現地バーチャル訪問を組み合わせた5日間の研修プログラムに取り組みました。

「本校は、ワールド・ワイド・ラーニング（WWL）コンソーシアム構築支援事業の拠点校であり、このオンライン海外研修はこの事業の一環として、WWL連携企業（アイ・シー・ネット株式会社）と連携して実施し、他府県の連携校7校にも呼びかけ、49名の生徒が参加しました。訪問型と違い引率や移動時間などの問題がない運営のしやすさから参加者枠を拡げられること、海外研修はハードルが高いと感じる生徒もオンラインなら参加しやすいです。」（WWL推進機構事務局 教諭 水口貴之先生）

※「ワールド・ワイド・ラーニングコンソーシアム構築支援事業 <https://b-wwl.jp/> とは、将来、世界で活躍できるイノベティブなグローバル人材を育成するために、高等学校等と国内外の大学、企業、国際機関等が協働し、スーパーグローバルハイスクール事業での実績やグローバル人材育成に向けた教育資源を活用し、高等学校等の先進的なカリキュラムの研究開発・実践と持続可能な取組にするための体制整備をしながら、高校生国際会議の開催等、高校生に高度な学びを提供するネットワーク形成を目指す取組みです。

【立命館宇治高等学校】

オンラインでラオスのコーヒー農園へ、教室へ、市場へ！

≫立命館宇治高等学校（京都府宇治市）× ワールド・ワイド・ラーニング (WWL)
オンライン Global Leadership Studies in Laos

立命館宇治高等学校は2021年1月5日（火）から5日間にわたり、例年は現地に渡航して実施しているフィールドワークを中心としたラオスでの海外研修の内容を、オンラインでのプログラムに再編成し、実施しました。

〔研修の構成〕

1月5日 （火）	事前研修	オリエンテーション
1月9日 （土）	海外研修 Day1	現地の高校生との交流・探検 Aコース:ラオス最大級の市場 Bコース:ラオス最大級の日本スーパー
1月11日 （月祝）	海外研修 Day2	現地の中学校で授業・中学生との交流
1月16日 （土）	海外研修 Day3	コーヒー農園、コーヒー農家を訪問
1月26日 （火）	事後研修	振り返り



「毎年実施しているラオスでの海外研修も、新型コロナウイルスの影響を受け、現地に渡航し活動ができない状況でした。それでも学びを止めない、そしてラオスとの関わりを止めないために遠隔でもできることを模索しながら挑戦したのが、このオンライン海外研修です。新しい取り組みですので、参加生徒の意見を大切に様々なことに挑戦しながら実施しました。」（水口先生）

事前研修の導入部分では、オンラインでのプログラムが中心になることを踏まえ、学びを最大化するための工夫として、自発的な会話や他者との関わり、積極的にメモを取ること、その場限りの経験で終わらないように今後どうそれを発展させていけるかを考えることなどを具体的な指針として説明。それに続くプログラムでは、参加者がグループに分かれ、事前にラオスについて調べてきたことを発表し合い、内容に関する質疑応答や翌日からのバーチャル現地訪問に備えたラオス語で簡単な挨拶ができるようなレクチャー他、それぞれのフィールドがどんな場所なのか、そこで誰に会えるのかといった細かい情報の共有をしています。

【立命館宇治高等学校】

オンラインでラオスに GO!

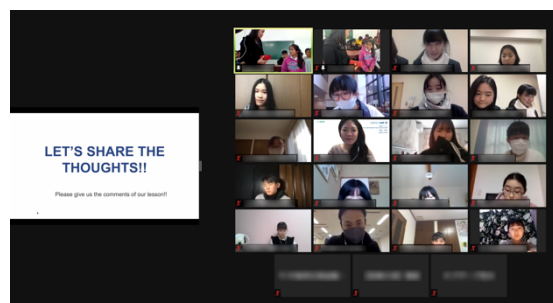
研修 2 日目からの 3 日間はオンラインを通じた 1.5 時間のフィールドワーク。現地の高校生と交流するプログラムでは、日系 NGO が運営する現地の農村出身の高校生の通学・生活の支援をする寮で暮らす寮生と日本語・ラオス語両方で交流をしたり、バーチャル見学をした市場では現地の人たちの様子や熱気あふれる雰囲気、コーヒー農園ではラオスの大地を感じたりと、実に多彩な体験が盛り込まれました。

オンラインでも創出できる「臨場感」を参加者も評価

研修後に実施したアンケートで、参加者の満足度は 5 点中 4.5 点。この高い評価の主な理由として挙げたのは「臨場感」でした。特に、現地の中学生・高校生との交流や市場探検、コーヒー農園訪問といったオンラインでのプログラムに強い印象を持ったという回答が集まり、他校の生徒からの刺激や新しい知識の習得を得られる機会になった参加者も多数。

「これまでの渡航型の研修では 1 回の参加者が 20 名程度に限定していましたが、今回のオンライン化では 1 回あたり 50 名程度が参加できました。日本からラオスへの移動が 1 日ばかりだったことに対し、オンラインでは瞬間移動が可能です。スケジュール上、訪問しにくい場所をオンラインであれば見に行くこともでき、より多くの生徒に、短期間で効率的に学びの機会を提供できたのはオンラインならではの利点です。海外研修のハードルが高い生徒にもオンライン研修は挑戦しやすいという良さも判り、オンライン研修できっかけを作り可能な時期に実際の渡航に結び付けたいと思います。」(水口先生)

[フォトギャラリー]



【立命館宇治高等学校】

